

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	002							
事務事業名	道の駅整備事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	最終	<input checked="" type="checkbox"/> 決まっている (2022 年度まで) <input type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	08	項	04	目	02	事業	02
担当部	都市建設部	担当課	産業拠点整備課	担当係	道の駅整備推進室 係													
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : 常総市道の駅基本構想・基本計画検討書)																	
根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称 :)																		

2 事務事業の目的																										
当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどのようなか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。																										
現状課題	アグリサイエンスバレー構想では、農業生産者の所得増大を目指す取り組みとして、地域農産物の販路拡大として販売拠点の確保が求められている。また常総ICと国道294号の広域交通結節点であり、市街化編入されたことも踏まえ、特性を生かした地方創生の交流拠点整備が期待されている。これらをふまえ、構想実現のため「農業を活かしたまちづくり」の拠点施設として、IC周辺に道の駅を整備する考え。2017年度は基本構想を策定。2018年度は、市民意見・外部有識者会議の意見をふまえて、基本計画を策定。今後の課題として、2019年度の指定管理予定者募集に向けて、施設の収益構造等を明らかにし、事業収支計画を精査するため、「管理運営計画」を策定することが必要である。										誰・何を対象に	①交流拠点の創出(市民・観光客等) ②販路拡大・産業振興(市内の農業従事者および商工業者)							望ましい状態	構想実現のため「道の駅」を活用するメリットとしては、①公共施設として長期的な地域活性化のまちづくりを行う。②戦略的中核拠点として、農産物等による地域資源を生かした新たな価値の創造ができ、地域に利益を還元できる市民のための施設とする③農業との親和性が高く、市の基幹産業の強みを生かせるチャンス④道の駅は年間数十万人が訪れる地域の集客施設であり、交流・イベントの場としての地方創生のための交流拠点に最適である。これらのメリットを最大限に活用し、地域ぐるみでの6次産業化に向けた取組を中心に、地域企業や公共施設と連携し、市内の地域資源(特産品や観光資源等)が相互に繋がるネットワークを形成することで、地方創生の拠点づくりを目指す。						
どのような方法・手順で	①2019年度・管理運営計画策定 ②2019年度・指定管理候補者選定 ③2020年度・道の駅開業準備支援業務委託 ④2020～2021年度・基本設計・実施設計 ⑤2021年度～工事着工 ⑥2022年度開業(目標)																									

3 事務事業の主たる成果指標																	
数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。																	
指標名	道の駅整備進捗率	単位	%	目標値	100	目標年次	2022	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	2020年度までの指標は委託業務が主であることから、毎年度10%増の進捗とします。また、2021年度からは、用地取得や工事費など実際の整備業務が始まることから道の駅の総事業費における各年度終了時までの合算事業費割合を進捗率とします。							

4 事務事業の実績 ①																								
当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																								
年度	2016年度					2017年度					2018年度													
	業務名		活動量			業務名		活動量			業務名		活動量											
事務事業を構成する主な業務	①					① 常総市道の駅基本構想策定業務委託	1委託	① 常総市「道の駅」基本計画策定業務	1業務	① 常総市「道の駅」基本計画策定業務	1業務													
	②					② 同 基本計画検討書策定業務委託	1委託	② 常総市「道の駅」基本計画策定検討会議	5回	② 常総市「道の駅」基本計画策定検討会議	5回													
	③					③		③ 常総市「道の駅」基本計画策定検討会議	5回	③ 常総市「道の駅」基本計画策定検討会議	5回													
	④					④		④ 道の駅に関するワークショップ、ウェブアンケート実施	6回	④ 道の駅に関するワークショップ、ウェブアンケート実施	6回													
	⑤					⑤		⑤ 市内中学校、高校において道の駅に関するアンケート調査	8校	⑤ 市内中学校、高校において道の駅に関するアンケート調査	8校													
	⑥					⑥		⑥ 市民と市長との道の駅に関する意見交換会	2回	⑥ 市民と市長との道の駅に関する意見交換会	2回													
	⑦					⑦		⑦ 道の駅先進地視察	5箇所	⑦ 道の駅先進地視察	5箇所													
	⑧					⑧		⑧ 認定農業者との道の駅についての意見交換会	1回	⑧ 認定農業者との道の駅についての意見交換会	1回													
	⑨					⑨		⑨ 道の駅チラシ全戸配布実施	1回	⑨ 道の駅チラシ全戸配布実施	1回													
	⑩					⑩		⑩		⑩														
	⑪					⑪		⑪		⑪														
	⑫					⑫		⑫		⑫														
	目標値に対する実績値		%			目標値に対する実績値		10			%			目標値に対する実績値		20			%					
決算額	計	円	内訳	特定財源	円	計	14,599,440	円	内訳	特定財源	円	計	269,619	円	内訳	特定財源	円	計	269,619	円	内訳	一般財源	269,619	円
	(住民一人あたりの行政コスト)		円			(住民一人あたりの行政コスト)		241			円			(住民一人あたりの行政コスト)		4			円					

5 担当者評価 ③																	
実施したことによる成果や問題点を記入してください。																	
成果	ほぼ目標どおり		2018年度策定の基本構想に基づき、基本計画を策定することができた。今後は、本計画を指針とし、2019年度の道の駅管理運営計画、指定管理者の公募を行っていく計画である。														
問題点	2019年度後期に道の駅指定管理者選定公募プロポーザル実施を予定しているが、管理運営計画委託業務の業務内容によっては、2019年度いっぱい必要となる可能性がある。その場合、指定管理者公募プロポーザルが2020年度に実施となるが、開業スケジュールに影響しない見込みである。																

7 実施計画 ②																					
今後3年間の事業内容について、どのようなことを・どの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																					
年度	2019年度					2020年度					2021年度										
事業内容	●道の駅管理運営計画策定 指定管理予定者の公募要件や道の駅事業の精査のため管理運営計画を策定。 ※管理運営計画策定予算:8,430千円 ●道の駅指定管理者選定公募プロポーザル実施 上記管理運営計画をもとに、公募要件を設定し公募プロポーザルを実施。																				
	●道の駅開業準備支援業務委託 打ち合わせ等の際の旅費交通費等の実費相当分 ※予算(案)500千円 ●基本設計・実施設計(翌年度繰越) 公募型プロボによる設計業者の選定、基本・実施設計の作成。 ※予算(案):70,000千円 (起債 52,500千円+単費 17,500千円) 補助等:社会資本整備総合交付金																				
●用地取得費 520,000千円 道の駅用地面積 20,000㎡のうち、7,000㎡が公共減歩で確保されるため、13,000㎡を購入する。 ※520,000千円(13,000㎡×40千円/㎡) (起債 390,000千円+単費130,000千円) ●建築外構工事費 1,034,000千円 継続費 2021年度 517,000千円 + 2022年度 517,000千円 (農村漁村振興交付金32,600千円+起債363,300千円+単費121,100千円) 農村漁村振興交付金:農産物直売所の450㎡、単価290千円/㎡まで290千円/㎡×450㎡=130,500千円 補助対象額の1/2 65,250千円 他省の補助が取れない場合は、内閣府補助(補正予算のみ)の地方創生拠点整備交付金を申請予定 内訳 ①全体建築工事費 800,000千円 ②外構工事費 234,000千円 県社総交で設計と駐車場、トイレ施工費に補助の見込み在り ●建築工事監理業務委託 15,000千円 継続費 2021年度 7,500千円 2022年度 7,500千円																					
成果指標	指標名	委託業務進捗率	単位	%	目標値	30	指標名	委託業務進捗率	単位	%	目標値	40	指標名	事業進捗率	単位	%	目標値	68			
予算額	歳出	計	8,430 千円					歳出	計	70,500 千円					歳出	計	1,044,500 千円				
	歳入	特定財源	千円					歳入	特定財源	52,500 千円					歳入	特定財源	785,900 千円				
		一般財源	8,430 千円					歳入	一般財源	18,000 千円					歳入	一般財源	258,600 千円				
		計	8,430 千円					歳入	計	70,500 千円					歳入	計	1,044,500 千円				

6 担当部長及び担当課長評価 ④																	
担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。																	
事務事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止																	
評価理由	道の駅はアグリサイエンスバレー構想における、新たなまちづくりに向けた拠点施設であることから、2022年度末の開業を目指し、迅速に進める必要がある。現在はおおむねスケジュール通りであるが、事業費が大きいことから、今後は国県と協議を行い、補助金等の精査を行っていくことが急務である。																

8 財務アドバイザーの見解																	
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。アグリサイエンスバレー関連は常総市の未来を創造する目玉事業であるが、この厳しい財政状況を鑑み無駄のない予算の執行と、市民目線の質の高い成果を期待する。																	

9 行政改革懇談会(市民)の意見																	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。 道の駅は地方創生の拠点となる施設であり、人口増に繋がるよう、立ち寄りやすい・立ち寄りやすい魅力あるものにして欲しい。ただし、整備には多額の費用がかかるため、国・県等の補助金を積極的に活用し、市の負担軽減に努めること。																	

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤																	
事務事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止																	
評価理由	担当部長及び担当課長評価のとおり、補助金の活用に努め、2022年度末の開業に向け推進された。																

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ⑥																	
実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。																	
事業内容																	